

大台ヶ原の利用実態調査結果

資料3-1 利用実態調査の実施

○調査の目的

車両による入込状況および渋滞状況、利用者の散策行動について利用実態を把握する。

○調査の実施日

利用圧による自然環境への負荷が指摘されているため、多数の入込数が予想される以下の4日間を利用実態調査の実施日として設定した。

平成14年10月26日(土)、27日(日)

平成14年11月2日(土)、3日(日)

○調査地

- ・駐車場(車両の入込状況の調査)
- ・ドライブウェイ(渋滞状況の調査)
- ・東大台地区歩道(散策行動の調査)

○調査項目

①車両の入り込み状況の把握

- ・駐車場を出入りする車両の車種、ナンバー、入退場時刻を記録
- ・乗合バスの乗車人員の記録
- ・観光バス等の団体の構成員、人員、ツアーの目的やルートなどのヒアリング
- ・ドライブウェイを巡回し、渋滞長、路側駐車状況を目視

②散策行動の把握

- ・東大台地区の散策ルートについて人の踏圧による植生の損傷状況の把握
- ・多くの利用者が歩行する日出ヶ岳～尾鷲辻～大蛇嶺のルートにおいて、歩道以外への立ち入り、その他自然環境に影響を及ぼすと考えられる行動の把握